

第 165 回研究会	
「木質バイオマス利用の最前線～ドイツ、フランスのペレット生産現場と日本の小型 CHP と燃料の課題～」	
日時	2017/4/12(水) 18:00～20:00
テーマ	木質バイオマス利用の最前線～ドイツ、フランスのペレット生産現場と日本の小型 CHP と燃料の課題～
講演者	竹林 征雄(NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク副理事長)
会 場	地球環境パートナーシッププラザ (東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学1F) 地下鉄表参道駅より徒歩5分・JR 他渋谷駅より徒歩 10 分 http://www.geoc.jp/access
参加費	BIN 会員:無料 一般:¥1,000(税込)
その他	※日本でも FIT による木質バイオマス発電が急増する一方で、熱利用も拡大しつつあります。 ※しかしチップやペレットの供給、熱需要の把握、熱供給のシステム構築など木質バイオマスの利用には、まだまだ多くの課題があります。 ※第 165 回研究会では、バイオマス産業社会ネットワーク副理事長の竹林征雄より、最近のドイツ、フランスにおける燃料生産調査や、日本の木質バイオマス利用に関わった経験から、最近の状況と課題について解説します。 ※今後の木質バイオマス利用をどう進めていくかについて、参加者の皆さまとともに活発なディスカッションができれば幸いです